

川端龍子《爆弾散華》1945年、大田区立龍子記念館蔵
Ryushi Kawabata, *Bomb Exploding*, 1945

川端龍子《草の実》1931年、大田区立龍子記念館蔵
Ryushi Kawabata, *Seeds of Grasses*, 1931

名作展

川端龍子の描き出した世界

— 生誕140年を迎えて

2025年3月29日(土)～6月22日(日)

- 開館時間 9:00～16:30 (入館は16:00まで)
- 入館料 一般200円、中学生以下100円
※65歳以上(要証明)、未就学児及び障がい者手帳等をお持ちの方
とその介護者1名は無料
- 休館 毎週月曜
※5月5日(月・祝)、5月6日(火・振)は開館し、5月7日(水)
に休館します。
- ギャラリートーク
開催日：3月30日(日)、4月20日(日)、5月5日(月・祝)、
5月25日(日)、6月22日(日) 各日13:00から

大田区立龍子記念館

〒143-0024 東京都大田区中央4-2-1
ハローダイヤル 050-5541-8600

Ryushi Memorial Museum

Ryushi Kawabata Exhibition - March 29 - June 22, 2025
"140th anniversary of the birth of Kawabata Ryushi: His aspiration to depict the world"

Kawabata Ryushi (1885-1966) is considered one of the great masters of modern Japanese-style painting. The Ryushi Memorial Museum was planned and designed by Ryushi himself and has a collection of more than 140 of his diverse works.



川端龍子《香炉峰》1939年、大田区立龍子記念館蔵
Ryushi Kawabata, Hsiangglufeng Mountains, 1939



川端龍子《龍子垣》1961年、大田区立龍子記念館蔵
Ryushi Kawabata, Ryushi Hedge, 1961

名作展 川端龍子の描き出した世界 — 生誕140年を迎えて 2025年3月29日(土)～6月22日(日)

Ryushi Memorial Museum Ryushi Kawabata Exhibition March 29 - June 22, 2025
"140th anniversary of the birth of Kawabata Ryushi; His aspiration to depict the world"

日本画家・川端龍子(1885-1966)は今年、生誕140年を迎え、島根と愛知で川端龍子展の開催が予定されています。また、龍子記念館および記念館に隣接する旧川端龍子邸が、国の登録有形文化財(建造物)に昨年登録され、龍子の功績は多方面にわたって評価が高まってきています。そこで本展では、作家・佐藤春夫にして「真に巨匠と呼ぶにふさわしいのは、ただひとり川端龍子ぐらいなものではないだろうか」と称えられた画業を、《草の実》(1931年)等の代表作を中心に振り返ります。

龍子の歩みを「大作主義への挑戦」、「青龍社の設立と『会場芸術』」、「晩年の作品制作」の3期に分け、大画面の作品を追求した記念碑的作品《一天護持》(1927年)から、日中戦争下に戦闘機を描いた《香炉峰》(1939年)、終戦を象徴的に表した《爆弾散華》(1945年)、自らがデザインした垣根を作品化した晩年の秀作《龍子垣》(1961年)等をおして、龍子が描き出した世界にせまります。

関連イベント

谷保玲奈展「け這う」を併催

会期中、2023年に当館初の滞在制作を行った谷保玲奈の作品展「け這う」を併催します。旧川端龍子邸の画室で現代の作家が感じとったイメージを描いた作品が、画室と展示室に新たな彩りを加えます。



伝 俵屋宗達《桜芥子図襖》を特別展示

3月29日(土)～4月13日(日)
龍子が愛蔵していた《桜芥子図襖》(17世紀)を期間限定で公開します。4月6日(日)は、第35回馬込文士村大桜まつり開催に伴い入館料無料とし、龍子公園を特別開放します。



伝 俵屋宗達《桜芥子図襖》17世紀
大田区立龍子記念館蔵

地域連携事業「風薫る美術館コンサート」

日時：2025年5月31日(土) 18:30～19:30
会場：龍子記念館 展示室内
出演：トリトン弦楽四重奏団
(企画・大森室内楽愛好会)
定員：50名(定員を超えた場合は抽選)
締切：5月16日(金) 必着



※イベント詳細、メールでの
お申込みは当館HPから

次回展の予定

名作展「時局と画家 川端龍子の1930～40年代」
2025年7月12日(土)～9月21日(日)

画家はどのように戦争の時代を生き、表現したのでしょうか。戦後80年、川端龍子の1930～40年代の作品から、時局と画家の制作について考えます。

龍子公園のご案内

隣接する龍子公園では、龍子設計の旧宅と画室を開館日に解説とともにご覧いただけます。



画室

ご案内時刻 (1日3回)

10:00、11:00、14:00 から開門します。(30分程度)

Ryushi Garden Guided Tour 10:00, 11:00, 14:00～

画室内の作品鑑賞

画室内の谷保玲奈展「け這う」の作品は、公園案内の際に外周からご覧いただけるほか、会期中の金、土、日曜、祝日の11:30、13:30(イベント開催時を除く)に、画室内に入ってご覧いただけます。
※要事前申込み、各回先着15名



インターネットでの
事前申込はこちらから
※電話でのお申込みは
受け付けていません。

当館へのアクセス



- JR京浜東北線 大森駅西口から東急バス4番「荏原町駅入口」行乗車「白田坂下」下車、徒歩2分
- 都営地下鉄浅草線 西馬込駅南口から南馬込桜並木通り(桜のプロムナード)に沿って徒歩15分

Access

Ryushi Memorial Museum

4-2-1 Chuo, Ota-ku, Tokyo 143-0024
TEL:050-5541-8600

- From JR Keihin-Tohoku Line Omori Sta. West Exit, take Tokyu Bus No.4 towards Ebaramachi Sta. Entrance, get off at Usuda-Sakashita bus stop and walk 2min.
- 15-min. walk from Toei Asakusa Line Nishi-Magome Sta. South Exit

Information

Opening Hours 9:00-16:30 (entrance closes at 16:00)
Admission Adults: 200yen, Minors: 100yen
Children under 6 and seniors over 65 are free
Closing Days Mondays (When a national holiday falls on a Monday, the Museum will be open and close on the following day)

大田区立龍子記念館

〒143-0024 東京都大田区中央 4-2-1

ハローダイヤル: 050-5541-8600

記念館直通: 03-3772-0680

https://www.ota-bunka.or.jp/facilities/ryushi/



えがくかなでる ひびく

公益財団法人 大田区文化振興協会